

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	藤野芸術の家		
所在地	相模原市緑区牧野4819		
サイトURL	http://fujino-art.jp/		
根拠条例	神奈川県立藤野芸術の家条例		
設置目的(設置時期)	県民が自然及び人とのふれあい並びに芸術体験を通して豊かな感性と創造性をはぐくむための施設として設置(平成7年3月14日施行)		
指定管理者名	一般社団法人かながわ青少年協会		
指定期間	平成23年4月1日～平成30年3月31日	施設所管課	青少年課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>指定管理者においては、事業実施計画どおりに事業を実施し、事故・不祥事等も発生していない。また、老朽化が目立つ設備等に対する適切な維持管理を行うとともに、積極的な経費節減に努めている。なお、県のたよりをはじめ、情報誌や新聞、ラジオなど効果的な広報活動を行った結果、平成27年度の利用者は前年度比で110.5%と増加し、収支比率は104.7%となり、また利用者満足度も上位二段階の評価で87.5%と高い割合であったため、3項目評価をA評価とした。</p> <p>今後は、適切な施設維持管理と積極的な事業展開を継続するとともに、閑散期における集客拡大に努めてもらいたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 事業実施計画に基づき体験・学習事業等を実施し、特に体験事業にあつては前年度比で2,175千円増の実績をあげた。また、施設維持管理にあつては節減に努めるとともに、開設から20年経過し老朽化が目立つ設備状況の中、利用者の安全を最優先とした施設の運営及び維持管理に努めた。</p> <p>◆利用状況 県のたよりをはじめ、情報誌や新聞、ラジオなど、積極的かつ効果的な広報活動に取り組んだ結果、利用者数が目標達成率102.9%となりA評価となった。前年度対比では、誰でも気軽に体験できる工房の利用者数が増加したことで、利用者数が110.5%と増加となった。</p> <p>◆利用者の満足度 平成27年7～8月に調査を実施し、上位2段階の回答割合が87.5%となったためA評価となった。 回収率は前年度よりも若干増加したが、36.4%と低かったことから、配布数の増加、配布先への電話聞き取り等に取り組むよう指導した。</p> <p>◆収支状況 誰でも気軽に体験できる工房利用については、四季折々の企画や新メニューの提供等による収入の増があった。また積極的な光熱水費等の節減に努めたことにより、収支差額は8,116千円のプラスとなり、収支比率は104.7%となったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 窓口アンケートでの苦情・要望があつたが、設備的な部分は県工事で改善し、サービスの部分は真摯に把握・改善しサービスの向上に努めた。</p> <p>◆事故・不祥事等 適切な施設運営と維持管理により、事故・不祥事等は発生しなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はなかった。</p>	

3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>体験事業（陶芸体験、木工体験、自由工房でのガラス工芸体験等、音楽体験、自然体験）《常設及び季節による期間限定プログラム》</p> <p>初心者をはじめあらゆる人々が、気軽に陶芸・木工・ガラス工芸・音楽等の芸術体験や自然体験に親しむことができる常設の事業を実施</p>	<p>・常設及び季節による期間限定プログラム体験者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工体験 10,969名 ・陶芸体験 8,346名 ・ガラス工芸体験 30,774名 合計 50,089名 <p>・親子で楽しむ！ラッパの三重奏コンサート 8/9 126名</p> <p>・親子で楽しむ！大きなラッパの仲間たちコンサート 3/26 145名</p>	
<p>学習事業（地域作家教室、美術基礎講座、音楽基礎講座、音楽芸術講座、アートテクニカルスクール）</p> <p>各分野の専門家を講師に迎え、工芸・音楽等の教室を開催し、技術の修得や知識の向上を図ることができる事業を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域作家教室 7/13・14 38名 ・美術基礎講座 3/24・25 28名 ・音楽基礎講座 6/14・20 78名 ・音楽芸術講座12/19・23 55名 ・アートテクニカルスクール 3/6・12・13 94名 ・フリーライブ 3/13 60名 	
<p>創造事業</p> <p>専門的な芸術活動、創作活動のための講習会や優れた芸術家の作品を鑑賞できる事業を実施</p>	<p>・パリのモディリアーニ弦楽四重奏団の演奏と詩人 谷川俊太郎の朗読 11/23 235名</p>	
<p>活動支援事業（地域との連携事業、学校等連携事業等）</p> <p>青少年をはじめ、あらゆる人々が、人とのふれあいを通して、芸術や自然に親しむ機会をつくり、様々な体験活動を支援する事業を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携事業～第24回藤野村歌舞伎公演 10/3・4 457名 ・地域連携事業～第5回藤野芸術の家音フェス 12/6 161名 ・学校等連携～校外学習等団体受入 8,577名 	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
青少年芸術体験活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 陶芸ワークショップ 親子電動ろくろ体験 16組 白磁のリーファケサリ作り 16名 木工ワークショップ 木の棚作り 6名 キャンドルと小箱作り 3名 自由工房ワークショップ Tシャツとエコバックの藍染め体験 35名 無垢木材の手織り機作りとマフラー作り 34名 など
青少年自然体験活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 親子わくわくキャンプ体験 28名 初心者向けキャンプ体験 30組 デーキャンプ等 5,249名 など
その他事業（地域連携サポート事業）	<ul style="list-style-type: none"> 藤野駅観光案内所ふじのねミニギャラリー 出展と販売 相模原市緑区キャラクター「ミウル」の アクセサリー作りと販売 藤野ぐるっと陶器市インフォメーション 設置 649名 など
その他事業（専門知識・技能等提供事業等）	<ul style="list-style-type: none"> 舞台技術ワークショップ 21名 など

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	97,552	93,095	102,902
対前年度比		95.4%	110.5%
目標値	100,000	100,000	100,000
目標達成率	97.6%	93.1%	102.9%

目標値の設定根拠： 提案時に設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書の人数合計（主催者・来場者）

[参考：最大利用可能人数／年]

	宿泊室	クリエイションホール	音楽スタジオA	音楽スタジオB	音楽スタジオC	会議室A	会議室B	合計
定員	100	300	60	15	15	30	20	
年間利用可能日数	274	316	316	316	316	316	316	
最大人数※	27,400	94,800	18,960	4,740	4,740	9,480	6,320	166,440
稼働率	56.1%	63.9%	47.6%	49.8%	49.3%	21.7%	18.4%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
A	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年1回、7～8月に実施	協定に定めた年1回、7～8月に実施した。結果として満足の割合が87.5%と高い割合であった。

[施設としての総合的評価]

質問内容 藤野芸術の家を利用したの全体的な印象をお聞かせ下さい。

実施した調査の配布方法 郵送 回収数/配布数 40 / 110 = 36.4%

配布(サンプル)対象 家族利用者、団体利用者、工房利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
施設としての総合的評価の回答数	14	21	5	0	0	40	主に低廉な料金と充実した工房等設備に満足していただいている。
回答率	35.0%	52.5%	12.5%				
前年度の回答数	15	18	3	0	0	36	
前年度回答率	41.7%	50.0%	8.3%				
回答率の対前年度比	84.0%	105.0%	150.0%	#VALUE!	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 職員対応の印象をお聞かせ下さい。

実施した調査の配布方法 郵送 回収数/配布数 40 / 110 = 36.4%

配布(サンプル)対象 家族利用者、団体利用者、工房利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	11	18	10	0	0	39	職員の親切かつ丁寧な対応に満足していただいている。
回答率	28.2%	46.2%	25.6%				
前年度の回答数	14	15	6	0	0	35	
前年度回答率	40.0%	42.9%	17.1%				
回答率の対前年度比	70.5%	107.7%	149.6%	#VALUE!	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	120,234	40,700	20,515	備考のとおり	181,449	181,449	0	100.00%
	決算	120,234	38,107	18,921	備考のとおり	177,262	173,659	3,603	102.07%
前年度	当初予算	123,670	42,247	24,423	備考のとおり	190,340	190,340	0	100.00%
	決算	123,670	37,213	19,498	備考のとおり	180,381	177,659	2,722	101.53%
27年度	当初予算	123,670	42,247	24,883	備考のとおり	190,800	190,800	0	100.00%
	決算	123,670	37,800	21,624	備考のとおり	183,094	174,928	8,166	104.67%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

(その他収入の内訳 単位:千円)

25年度当初時：負担金19,220、協賛金30、その他収入1,265
 25年度決算時：負担金18,856、協賛金30、その他収入 35
 26年度当初時：負担金19,893、協賛金30、その他収入4,500
 26年度決算時：負担金19,389、協賛金30、その他収入 79
 27年度当初時：負担金20,233、協賛金30、その他収入4,620
 27年度決算時：負担金21,564、協賛金30、その他収入 30

(平成27年度の当初予算と決算の支出額について)

○人件費 (2,016千円増)
 当初予算：74,048千円、決算：76,064千円
 提案書の予算額を計上しているが、社会情勢にあわせた若干額の昇給とそれに伴う法定福利費の増加。
 ○事業費 (4,507千円減)
 当初予算：22,843千円、決算：18,336千円
 工房各担当者の相互協力による職務範囲の拡大と人員配置の見直しによるアルバイト賃金等の削減。工
 作材料の外注加工を減らし、自社加工を増やしたことによる材料費の削減。
 ○維持管理費 (13,381千円減)
 当初予算：93,909千円、決算：80,528千円
 平成25年度以降の諸物価の上昇や光熱水費の高騰に対応する予算を計上したが最大限の節減努力と原油
 価格下落により光熱費を削減。リース機器等を自己資金で購入したことによるリース料の削減。日々のメ
 ンテナンスで故障等が少なかったことによる修繕費の削減。

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
平成27年5月～ 平成28年2月	17,536	舞台機構設備ワイヤロープ交換工事(4,918) エントランス前アプローチ舗装張替工事(4,979) スタジオA、B、C内装補修工事(2,052) その他工事 7件(5,587)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 500千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額 (千円)	内 容 (金額 (千円))
収 入		
支 出		
積 立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	窓ロア ン ゲート 2 件	(1) 宿泊室のエアコン(冷暖房)の効きが悪い。 (2) 宿泊室の清掃をきちんとしてほしい。	(1) 平成28年2月に県で空調 機器交換整備工事を実施。 (2) 清掃委託業者へ注意徹底 指示。
	件		
職員対応	窓ロア ン ゲート 2 件	(1) 受付が分かりにくく、すぐに職員が出てこ ない。 (2) 受付が混んでいる時は手分けして対応して ほしい。	(1) 呼び出し用ベルを設置。 (2) 複数で受付対応 (ただ し、受付スペースが狭く一度 に多くの対応は難しい)。
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	窓ロア ン ゲート 4 件	(1) 食事の価格と内容がアンバランス。	(1) レストラン事業者へアン ケート結果を報告し、食事の 質の向上に努めた結果、苦情 は減少傾向にある。
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査(包括外部監査含む)又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。